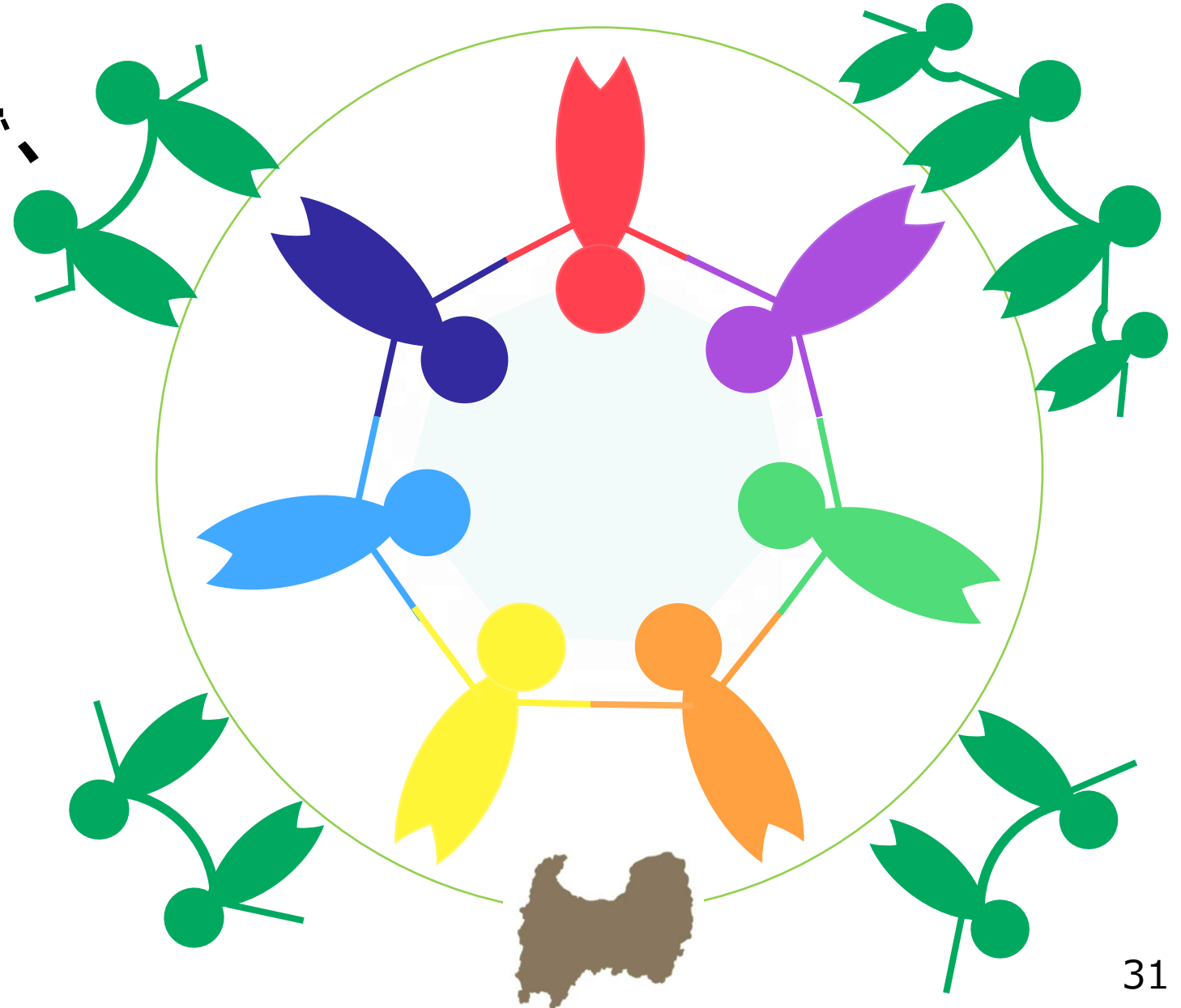


ウェルビーイング指標の発信

人や社会との**つながり**の中で、
色々な要素が**結びつき**、
影響し合って
一人ひとりの多様な
ウェルビーイングをつくる



イメージを県民の皆さんと
共有できるように
指標の発信方法を工夫

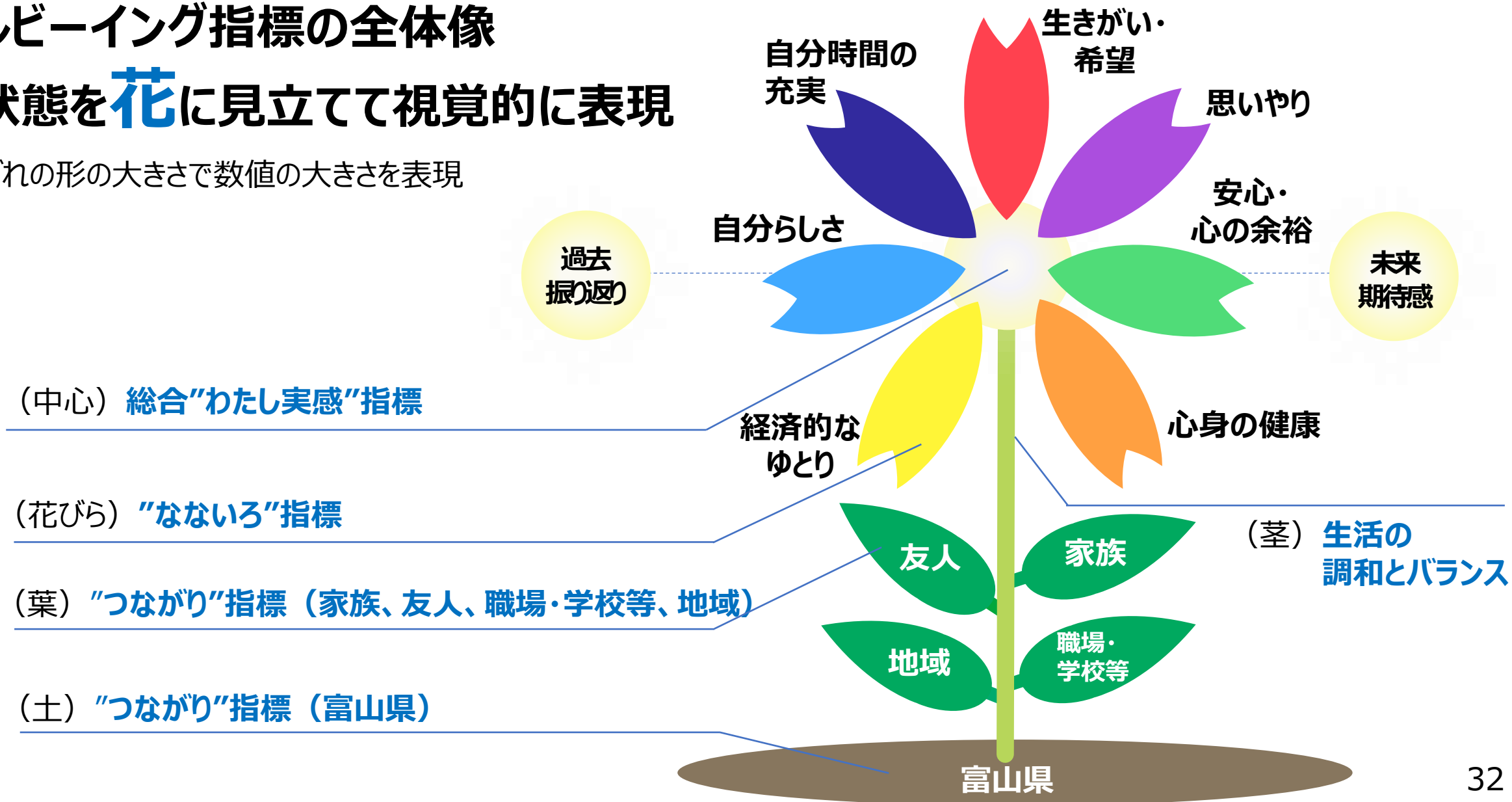


ウェルビーイング指標の発信

ウェルビーイング指標の全体像

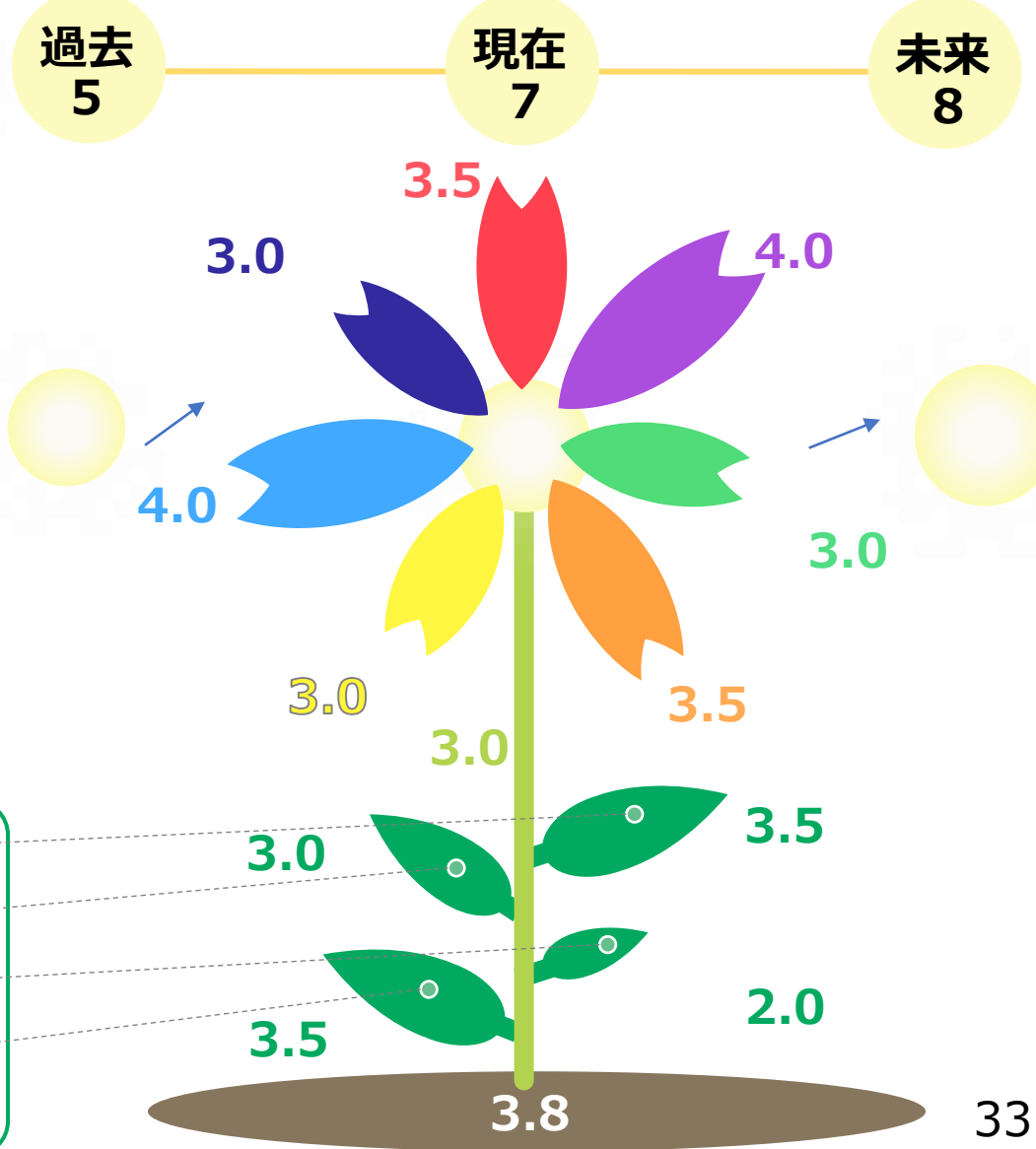
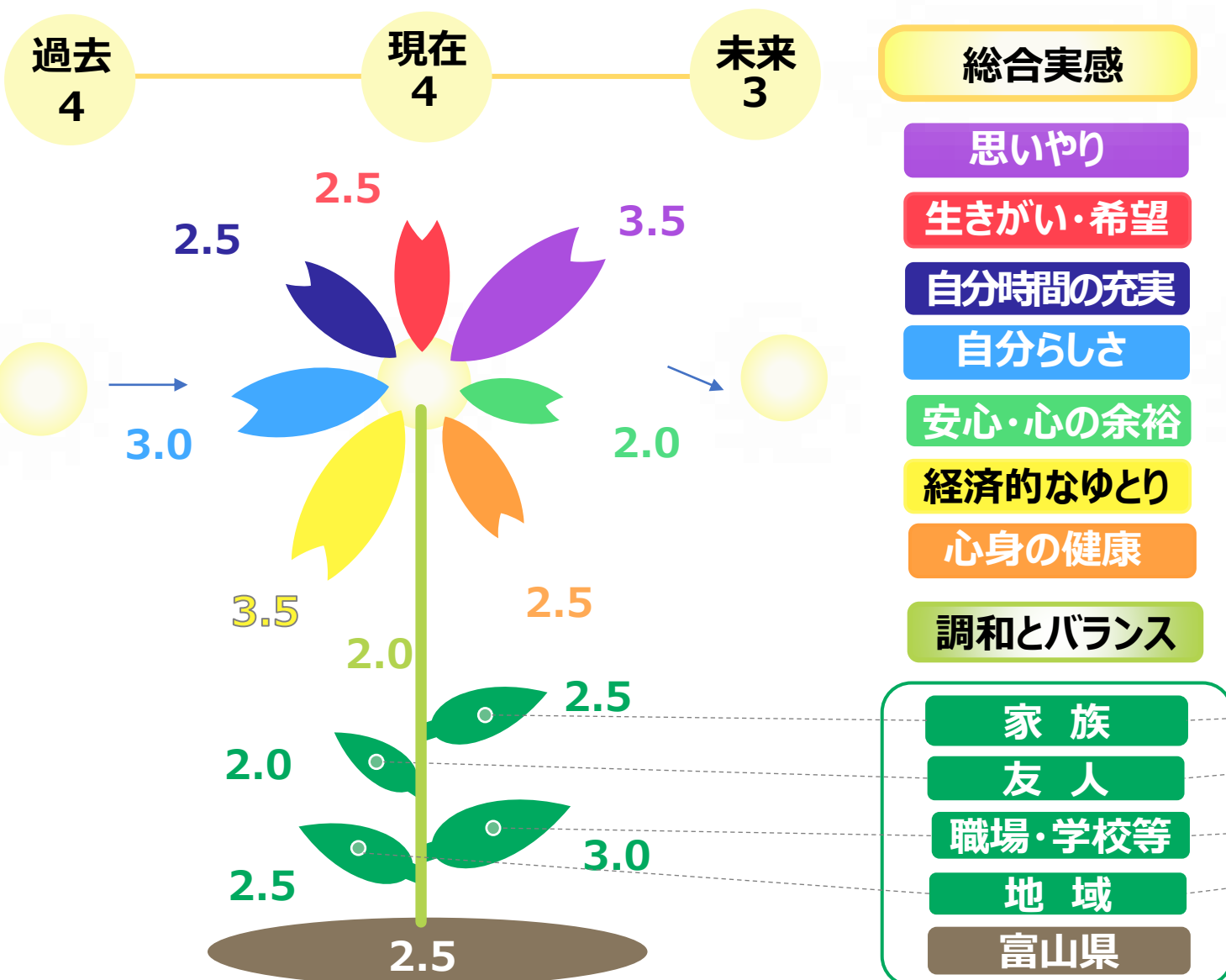
・・・状態を**花**に見立てて視覚的に表現

※それぞれの形の大きさを数値の大きさを表現



ウェルビーイング指標の発信

指標の表示イメージ ……102万県民には102万通りの姿



ウェルビーイング指標の活用・今後の展開

今後の展開

1 ウェルビーイングの広報への積極活用

- 年度内に**新たに設置する特設ウェブサイト**において**本県の指標の状況を表示**
調査結果の全体状況のほか、年代別などで異なるウェルビーイングを“花”などで視覚的に表現。
さらに、**ウェブ上で回答していただくと、一人ひとりのウェルビーイング状態を表示できる機能を設ける。**
- その他広報等にも指標を活用

2 ウェルビーイング指標の定期的な調査・公表

- 調査を**継続的に実施、推移を把握**
- 一人ひとりの多様なウェルビーイングを捉える観点から、引き続き、**年代別・性別ごとにきめ細かく捉えていく**
- 政策の**総合的な成果（アウトカム）**として、県民生活・行動への影響・効果を点検

ウェルビーイング指標の活用・今後の展開

3 ウェルビーイングを政策形成プロセスに組み入れていく

- ① 指標は、多様な県民意識をウェルビーイングの観点から**可視化する手段**（ツール）
→ **政策判断の基礎となる主要データ**として活用
 - 施策に関連した県民がどのような主観的意識・傾向を持っているのか、年代や性別、職業などの基本属性データと組み合わせることで**きめ細かく把握**
 - **政策効果の評価にも活用、指標データの背景にある（これまで見えていなかった）課題・ニーズを探る**
- ② 県民に一層寄り添った政策を行うための、
職員意識向上・マインドセット（考え方や見方）に活用
 - **県民ウェルビーイングを起点**とした政策立案～実施～評価
 - 職員も「自分ごと」・・・自身の仕事のやりがい、意欲向上
（→**ウェルビーイング向上**）

政策形成プロセスへの組入れ

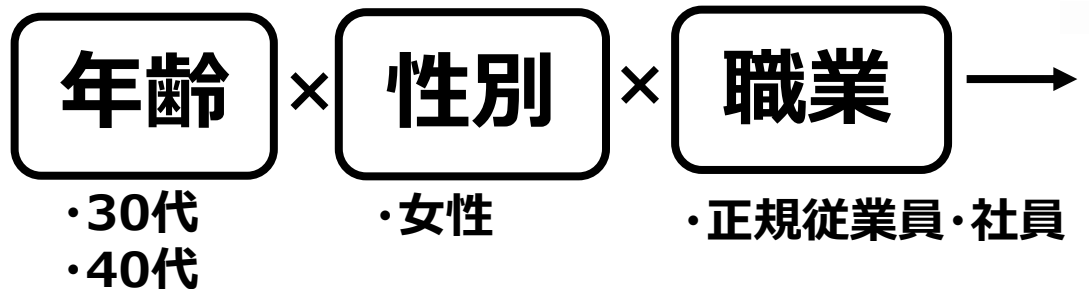
① 基本属性データと組み合わせた主観的な県民意識・傾向のきめ細かな把握

<政策の対象>

<政策に関連した主観的評価>

(例1) 女性活躍関連

女性が、仕事と家庭を両立しながら、それぞれの職場で目標を持ち、やりがいを感じて自分らしく能力を発揮できる環境の実現を目指す



生きがい・希望

・自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。

自分時間の充実

・娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。

自分らしさ

・自分らしく、ありのままでいられている。

家族とのつながり

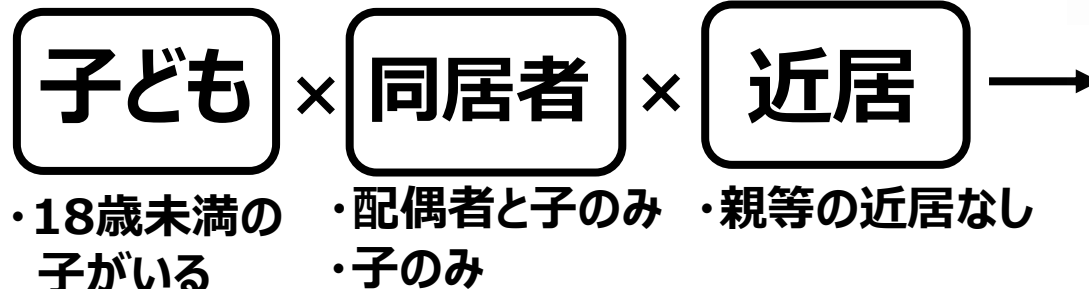
・家族は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。

職場・学校等とのつながり

・職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。

(例2) 子育て支援関連

困った時や悩んだ時でも身近に相談相手があり、希望を持って、安心して子育てができる地域づくりを目指す



経済的なゆとり

・生活に必要な所得や資産がある。

生きがい・希望

・将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。

家族とのつながり

・家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

地域とのつながり

・困った時や苦しい時に、地域の人には助けられると感じている。

政策形成プロセスへの組入れ

<政策の対象>

(例3) 若い世代の活躍支援関連

様々な意見や価値観が受け入れられ、一人ひとりが夢や目標に向かって努力・チャレンジし続けることができる環境・機会づくりを目指す



<政策に関連した主観的評価>

生きがい・希望

- ・夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。
- ・将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。

職場・学校等とのつながり

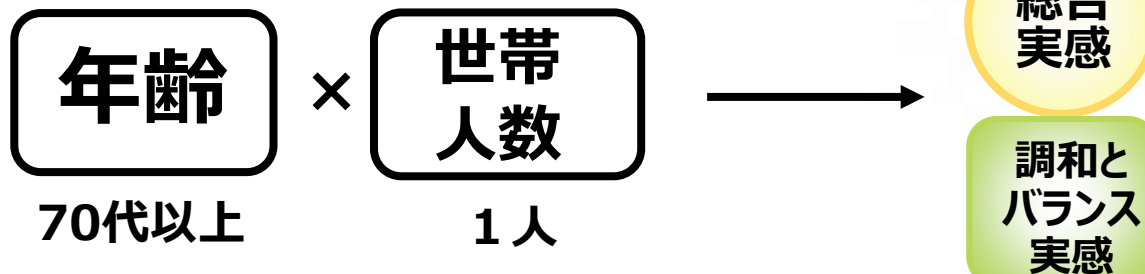
- ・職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。

富山県とのつながり

- ・全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。
- ・全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。
- ・全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。
- ・富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。

(例4) 一人暮らし高齢者福祉関連

地域で助け合いながら、生活に不安なく、いつまでも快適で健康に暮らすことのできる状態の維持・向上を目指す



心身の健康

- ・身体の状態は健康だと感じている。

安心・心の余裕実感

- ・住まいは快適・安全・安心であると感じている。

地域とのつながり

- ・困った時や苦しい時に、地域の人には助けられると感じている。

富山県とのつながり

- ・富山県での暮らしに不安はない。イ 医療・福祉 ウ 移動（交通）

政策形成プロセスへの組入れ

② 政策立案～実施～評価の過程での職員意識向上・マインドセット

【県民ウェルビーイング向上のための県庁行動指針】

検討・立案

① ウェルビーイングでミエル（見える） 県民の姿と課題・ニーズ

一人ひとりの県民の姿、ウェルビーイングの要素（指標）を意識しながら、誰のどのような幸せ（課題の解決、ニーズの充足）に繋げるのか、県民のウェルビーイングを起点とした政策を考える。

② ウェルビーイングでカエル（変える） 政策の進め方・アプローチ

これまでの政策もウェルビーイングで捉え直し、前例にとらわれず、視点や方法を変える・工夫する。

③ ウェルビーイングでコエル（越える） 政策間の壁

県民ウェルビーイング本位の政策で所管分野に収まらない課題は、政策間（所属間）でも対話を行い、積極的に連携・協力する。

④ ウェルビーイングをスエル（据える） 政策の目的・意義

全体を通じて、対象となる県民ウェルビーイングを意識の中心に据え、事業の目的・意義を確認しながら進める。

⑤ ウェルビーイングでフエル（増える）・ミエル（見える） 幸せ実感

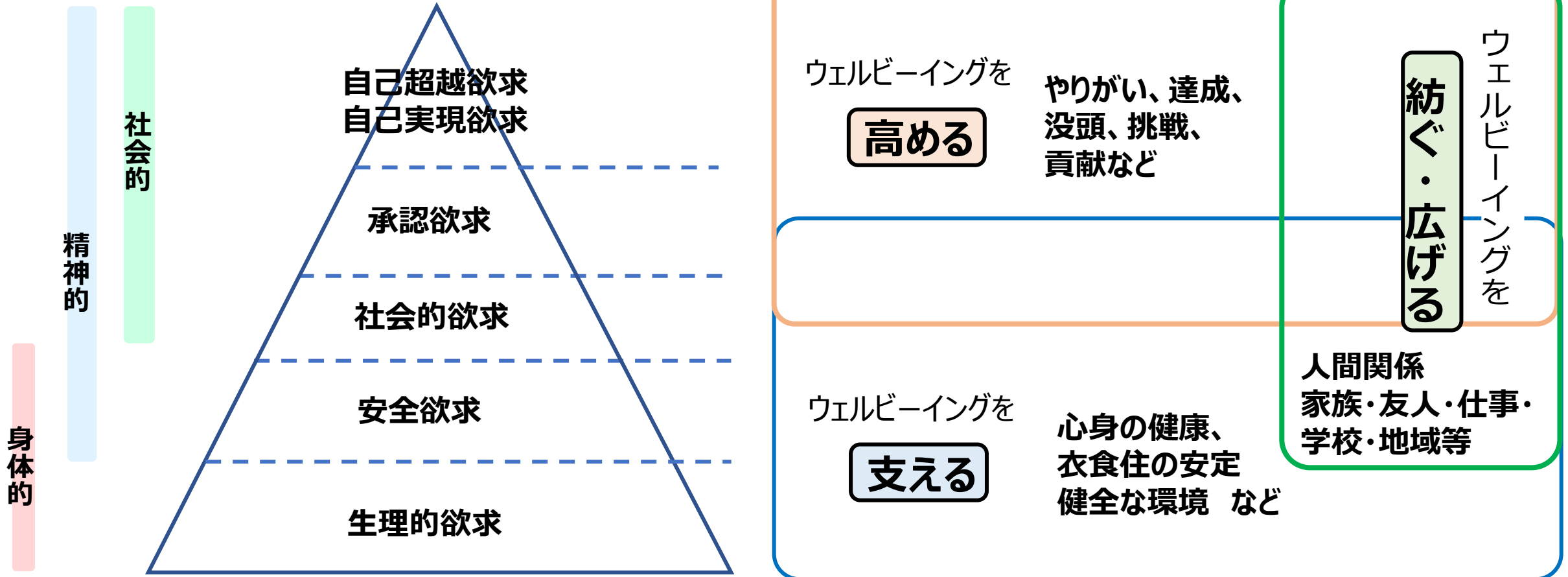
県民の幸せ、ウェルビーイングに寄与できたか、政策ごとの主観的・客観的評価データも組み合わせて捉え、政策の効果検証・改善に活かす。また職員自身のやりがい・意欲向上にも繋げていく。

実施

評価

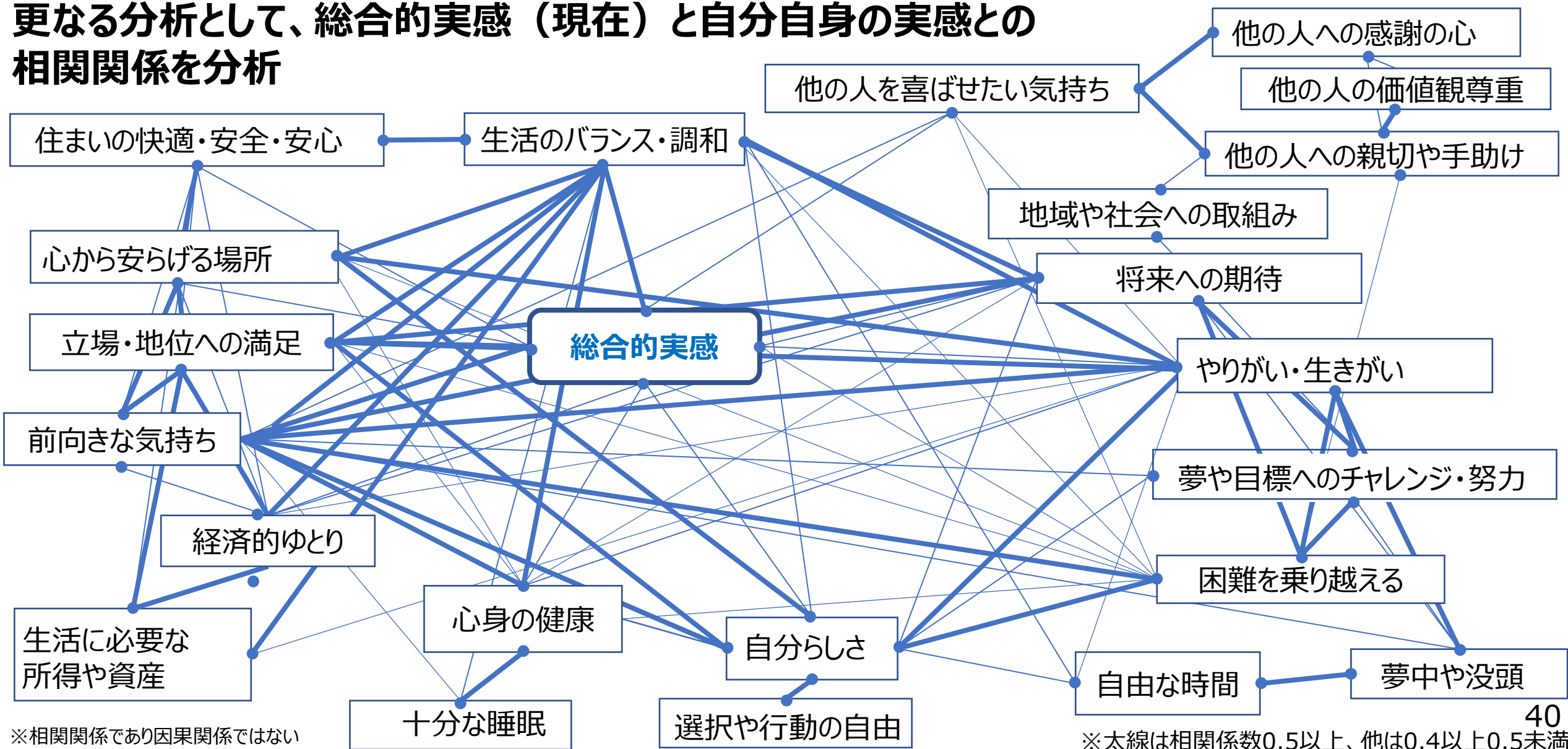
(参考) 県民意識調査の際意識した個人内面の階層

県民意識調査の設問を構成する際に意識した個人内面の階層
(マズローの欲求5段階説等を参考に、県で捉え方を整理したもの)



(参考) 県民意識調査結果の更なる分析①

更なる分析として、総合的実感（現在）と自分自身の実感との
相関関係を分析



※相関関係であり因果関係ではない

※太線は相関係数0.5以上、他は0.4以上0.5未満

(参考) 県民意識調査結果の更なる分析②

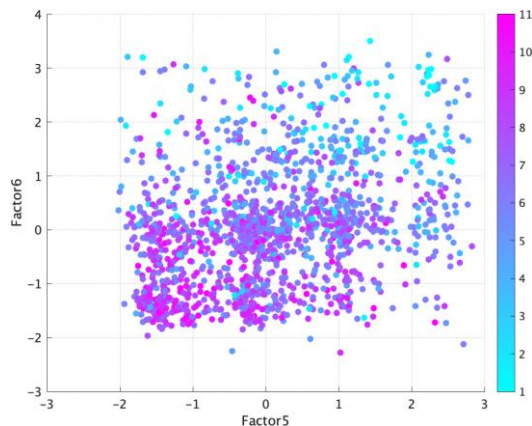
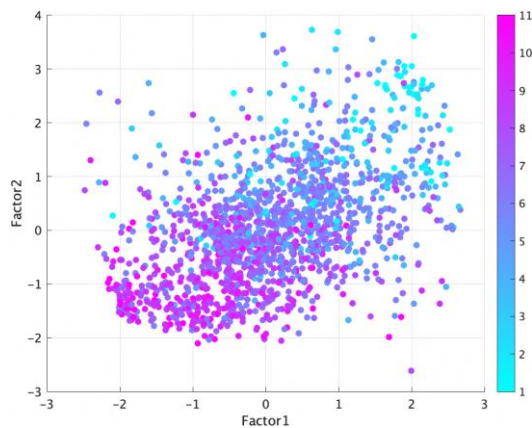
また、富山県立大学の協力を得て、項目間の共通要素に関する分析や自由記述項目と総合的実感との関連等についても分析

内容 (例、抜粋)

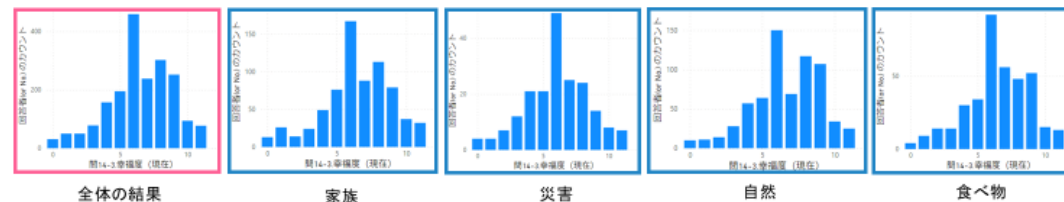
分野別実感のうち自分自身の実感 (22問) の回答結果を用いた分析

各因子と因子負荷量の関係

因子番号	1	2	3	4	5	6	7
1	0.04501	0.09217	-0.03052	-0.03917	-0.065	0.8203	-0.02495
2	-0.06409	0.07858	-0.05791	-0.01848	0.1694	0.6143	-0.01598
3	-0.002885	-0.03325	-0.01271	0.8523	-0.04686	0.07071	0.02551
4	0.05026	0.1033	-0.03218	0.8494	0.0573	-0.1168	-0.008944
5	-0.1339	0.4775	0.1171	0.1965	0.01969	0.0613	0.01321
6	0.01803	0.5482	0.01673	0.1933	0.08941	0.1083	-0.06571
7	-0.02977	0.7754	0.1457	-0.08315	-0.03861	0.02829	0.01282
8	0.114	0.7043	-0.1147	0.1022	-0.05554	-0.03277	0.1082
9	0.309	0.4841	0.06176	-0.1064	0.005002	0.1574	-0.01218
10	-0.1294	-0.002745	0.02954	0.03328	0.8434	0.02243	0.06773
11	0.3904	-0.04802	-0.03155	-0.03899	0.6075	-0.06644	-0.02343
12	0.7044	0.2929	-0.04207	-0.0267	0.05881	-0.08783	0.005527
13	0.7638	0.2027	-0.02566	0.04956	-0.03166	-0.02766	-0.1237
14	-0.102	0.1068	0.7194	-0.05734	0.06146	-0.03278	-0.01798
15	0.1231	0.1563	0.6728	-0.02685	-0.02918	-0.08927	-0.1011
16	0.3161	-0.1491	0.2651	0.1227	0.004311	0.08277	-0.05704
17	-0.05083	-0.05618	0.7931	-0.003283	0.0006647	0.00197	0.04433
18	0.02903	-0.08217	0.59	0.02165	0.006156	0.02319	0.1013
19	-0.06041	-0.0144	0.06136	0.06873	0.06279	-0.02413	0.7336
20	0.1477	0.3964	-0.05218	-0.1025	0.02044	-0.02567	0.5531
21	0.7339	-0.1786	0.0874	0.02126	0.04455	0.03786	0.05643
22	0.5687	-0.03785	0.1093	0.03191	-0.1757	0.1574	0.1635



- 自由記述設問「富山県での暮らしに幸せを感じる時」から、頻出する語を分析
- 回答数の多かった「自然」(自然が豊かなど)「災害」(災害が少ないなど)「食べ物」(食べ物がおいしいなど)「家族」(家族と一緒にいることなど) 関係の回答者をグループ分け → 総合的実感との関連を探る



分類	全体と家族		全体と災害		全体と自然		全体と食べ物	
	全体	家族	全体	災害	全体	自然	全体	食べ物
回答数	1983	718	1983	196	1983	686	1983	381
実感7以上	725	261	725	53	725	283	725	128

- 家族や食べ物に関する回答があったグループの総合的実感は全体と比較して変わらない
- 災害を挙げた回答者は全体と比較して総合的実感が低い
- 自然を挙げた回答者は全体と比較して総合的実感が高い等の可能性がある など